

アース・エコ メールマガジン 電子瓦版

アース・エコ
メールマガジン No.9-21
2019年2月4日(立春)
特定非営利活動法人
アース・エコ 発行

アース・エコ会員の皆様と、日頃からアース・エコの活動にご理解、ご支援をいただいている会員外の皆様にアース・エコの活動をお知らせするため、月2回、メールマガジンをお届けしています。

昨日の夕方、コンビニなどで店舗の外に置いた机に恵方巻を並べて売る姿をいくつか見かけました。昨年は恵方巻だけで10億円分のフードロスがあったとマスコミで事前に報じられるなど、SDGsも引用してフードロスの削減が呼びかけられていましたが、今年はどうのような結果だったのでしょうか？



かながわ環境教室 葉山町内の小学校③

1月22日(火)、葉山町内の小学校でかながわ環境教室「あなたも省エネに挑戦！地球温暖化防止」の出前授業を実施しました。対象は6年生3クラス79名で、葉山地区では今期3校目の出前授業です。昨年は雪が降り積もり、子どもたちが安全に来られるようにと学校に向かう道や校庭で先生方が汗だくで雪かきをされていたことを思い出します。

昨年とほぼ同じ日ですが今年は晴れ。3クラスと言うことで給食をはさんで1時間目から6時間目までの授業です。この学校では毎年恒例の5年生による餅つきがこの日の朝から有ると伺っていましたが、給食時につきたての柔らかな美味しいお餅のご相伴にあずかることもできました。

講師はインターシップ学生1名も加わり、総勢9名での授業でした。授業の初めに、何の授業かを子どもたちに問い掛けても、解っていても進んで発言しようとはせずにはにかなだ様子でしたが、授業が進むにつれはきはきと対応してくれました。

授業中は全員熱心に耳を傾け、省エネ実験は楽しそうに取り組みました。各班、講師1名に対し児童3~4名と少人数対応のため、違い探しゲームや省エネチェックでは丁寧な対応が出来たのではと思っています。より子どもたちの年齢に近いインターシップの女子学生が講師として加わり、実験や班での対応に私たちより楽しそうに心を開いた子どもの様子にチョッピリ嫉妬？

今回はアンケート用紙に質問が有れば書いてと投げかけをして見ました。

- LEDはなぜ発光しているのかをくわしく知りたい。
- ゲーム機はどのくらい電気を使っているのか気になった。
- スマホやタブレットは二酸化炭素を排出しますか？ またどれくらいの電力を使うのですか？



の質問がありました。子どもたちに分かりやすく回答するのはなかなか難しいですが、皆さんのお知恵も借りて回答したいと思っています。

[内田]



子どもたちに地球温暖化の説明をする筆者



女子学生(右端)も加わり楽しそうな雰囲気でも実験



つきたてのきな粉餅もご馳走になりました

新たな環境問題 ～プラスチックごみを考える～

1月の合同勉強会にNPO法人ふるさと環境市民の西寿子様を講師にお迎えして、最近話題のプラスチックごみ問題についてご講演いただきました。西様は1995年に環境活動を開始され、海外視察などもされながら環境学習の出前講座や地域の河川の清掃活動など様々な活動に取り組まれています。講演をお聞きした後、参加者全員でこの問題について意見を出し、ディスカッションしました。ご講演の要旨と、ディスカッションで提起された問題点を紹介します。



最近、海岸に打ち寄せるゴミが問題になっていますがその8割以上がプラごみと言われます。捨てられた漁網に海洋生物が絡まって死んだり、打ち上げられた鯨の体内から大量のプラスチックが見つかったりしています。

海洋投棄されたプラごみは紫外線や波の作用で破碎され、大きさが5mm以下になったものをマイクロプラスチックと呼びますが、プラスチックは自然界では破碎されて小さくてもプラスチックとして残り、完全に分解するには100年かかるとも言われています。海に流入したプラごみは年々蓄積し続け、一部は海溝の深海にまで達しているとも言われます。

マイクロプラスチックより更に小さいプラスチック粒子がマイクロビーズで、歯磨き粉や化粧品などにもスクラブ材としても使われています。マイクロプラスチックやマイクロビーズは自然界に残存するPCBやDDTなどの有害物質を吸着する性質があり、食物連鎖により濃縮され人間にも健康被害を及ぼすことが懸念されます。

海洋ごみの原因はペットボトルなどの使い捨てプラスチック製品で、ポイ捨てされたごみが風に飛ばされたり雨に流されたりして河川を経由して海に流出したものが大部分と言われます。

日本の人口1人当たりのプラごみ排出量は米国に続き世界2位と言われています。家庭から排出されるプラごみは自治体が分別回収しますが、再びプラスチック原料として利用されるのはわずかで大部分は焼却や地中埋設により処分されています。プラごみの増加に焼却場や処分場の対応が追いつかない状況です。

最近、スターバックスがプラスチックストローの使用をやめる方針を出して話題になりましたが、世界ではレジ袋やストローなどの使い捨てプラスチック製品の使用禁止や制限する方向に進んでいます。日本も2030年まで

に使い捨てプラスチック製品の25%削減や、2020年までにレジ袋を原則有料化などが検討されていますが、プラスチック自体の使用を減らす議論は不十分です。



ディスカッションで出された主な意見をまとめると、以下のようになります。

- プラごみ問題の全体像はまだ明確ではなく特に健康被害についての明確なデータが得られていないので、不安だけを煽るような騒ぎ方は避けるべきだが、多くの市民はこの問題にまだ気づいていないので実態を知らせる努力は大切である。
- スターバックスのストロー使用中止には象徴的な意味しかないが、多くの市民にこの問題に気づいてもらうためのきっかけとしては重要である。
- すぐに誰でもできる対策としては、ゴミのポイ捨てをしないこと、ペットボトルやレジ袋等の使い捨てプラスチック製品の使用を極力減らすことなどがある。
- プラごみは分別回収すれば良い訳ではない。再資源化には多くのエネルギーが使われ、焼却は多量の二酸化炭素を排出し、埋め立ててもマイクロプラスチックとなって自然界に拡散する可能性がある。
- ごみ処理には税金が使われるので、ごみの減量が重要である。
- アクリル繊維、自動車のタイヤ、人工芝なども汚染源となることを考えると、最終的にはプラスチック製品全体の量の削減を考えなければならない。



神奈川県は「私たちの環境行動宣言かながわエコ10トライ」への県民の参加を呼びかけていますが、最近「プラごみゼロ宣言バージョン」も作りました。項目のいくつかをご紹介しますので、皆さんもトライしてみてください。

- プラスチック製ストローの使用は控える
 - マイバッグを持参し、レジ袋はもらわない
 - お店などでプラスチック製スプーンなどをもらわない
 - スーパーなどで食品を小分けにするポリ袋の使用を減らす
 - 買い物の時には、簡易包装を頼む
 - 海岸などでのレジャーのあとは、ごみを持ち帰る
 - プラごみはルールに従って、分別して出す
- 詳しくは以下のホームページをご覧ください。

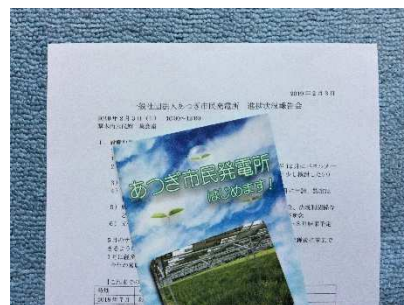
<http://www.pref.kanagawa.jp/docs/ap4/cnt/f360478/>

あつぎ市民発電所 その後

昨年10月に開催した合同勉強会に一般社団法人あつぎ市民発電所理事長の遠藤睦子様、副理事長の落合青春様をお招きし、あつぎ市民発電所とソーラーシェアリングについて講演していただきました。あつぎ市民発電所のその後の経過をお聞きしたくて、2月3日(日)厚木南公民館で開催された進捗状況報告会に、会員でもないのに参加してきました。

東電パワーグリッド、経産省への申請は終わりましたが、発電設備は昨年選定した太陽光パネルがメーカー都合で入手困難となり再検討を余儀なくされ、設置予定地が文化財保護法の埋蔵文化財包蔵地に該当することが分かり教育委員会に埋蔵文化財調査を申請して試掘調査を行うことになるなど、理事長曰く「障害物競走」のような道のりで、今春に予定していた設置工事を秋に延期したそうです。詳しくは以下をご覧ください。

<https://www.facebook.com/atsugi.shimin.hatsudensho>



1月理事会・例会・合同勉強会

1月21日(月) かながわ県民センターで1月の理事会・例会・合同勉強会を開催し、会員など15名が出席しました。

1月理事会

- 2019年度の横浜市内の地区センターで開催する地域環境教室の日程について協議しました。
- 2019年度のよこはま夢ファンドの助成金による事業および申請書の内容について協議しました。

1月例会

- 今年度中に実施予定の3件の活動について実施内容の検討・確認と参加者の調整を行いました。
- 12月例会以降に完了した活動1件について振り返りました。

合同勉強会

(神奈川県環境学習リーダー会エネルギー部会との共催)

- 新たな環境問題！プラスチックごみを考える
NPO法人ふるさと環境市民の西 寿子様を講師にお迎えして、掲題のテーマについて講演をお聞きした後、参加者全員でこの問題についてディスカッションしました。詳しくは2ページの記事をご参照ください。



合同勉強会で講演する西 寿子様



これからの活動予定

- ◇ 2月16日(土) 子ども向け理科実験教室 相模原市立環境情報センター
- ◇ 2月20日(水)、21日(木) かながわ環境教室 葉山町内の小学校④

上記について詳しくは事務局にお問合せください。

earth.eco.jimukyoku@gmail.com

会員外の皆さんも、例会・勉強会やほとんどの活動を見学することができます。詳しくは事務局にお問合せください。

2月の例会・勉強会

2月18日(月) 13:30-16:30
かながわ県民センター会議室

会員の皆様のご参加をお待ちしています。

アース・エコ メールマガジンのバックナンバーは↓からご覧いただけます

<http://www.kiykuwahara.com/page03/page03.html>

アース・エコは持続可能な社会の実現を目指します

13 気候変動に
具体的な対策を



地球温暖化などの気候変動とその対策(緩和と適応)について理解が深まり、行動に移す人が増えるように、以下の活動に取り組みます。【13】

- 電気、ガス、ガソリンなどのエネルギーの使用効率を良くする方法を伝え、家庭での省エネの実践を呼びかけます。【7】
- 限りある資源やエネルギーに過度に依存した生活から自然と調和した生活へと、ライフスタイルの変更を呼びかけます。【12】
- 持続可能な社会の姿とそれを実現するための知恵をより多くの人と共有し、行動します。【4】
- 科学者・技術者を指す子どもが増えるように、科学・技術のおもしろさ・楽しさを子どもたちに伝えます。【9】

7 エネルギーをみんなに
そしてクリーンに



12 つくる責任
つかう責任



4 質の高い教育を
みんなに



9 産業と技術革新の
基盤をつくろう



17 パートナリープで
目標を達成しよう



以上の活動を、行政、学校、市民団体などとのパートナーシップにより進めます。【17】

地球温暖化やボランティア活動に関心のある方

私たちと一緒に活動しませんか？

アース・エコの活動に参加してみませんか。例会・勉強会の見学も歓迎します。事前にメールでお問い合わせください。⇒ info@npo-earth-eco.com

会員募集中！

アース・エコ

検索



私たちの活動は皆さまからのご寄附で支えられています

アース・エコへの寄附は「よこはま夢ファンド」にお申し込みください。インターネットまたは郵送・ファクス・Eメールでお申込みの際に、支援したい団体に「アース・エコ」をご指定ください。税の優遇措置が受けられます。

詳しくは <http://www.city.yokohama.lg.jp/shimin/>

アース・エコは地球温暖化防止活動に取り組むボランティア団体です。

ホームページ <http://www.npo-earth-eco.com>

お問い合わせ、お申込み、メルマガ配信希望・配信中止のご連絡はこちらまで info@npo-earth-eco.com